年間授業計画　新様式例

立川　　高等学校 令和７年度　　教科　国語　科目　国語表現

教　科：　国語　　科　目：　国語表現　　単位数：　単位数：　2　単位

対象学年組：第　4 学年　A　組～　B　組　　選択

教科担当者：　（A組：　　）　（B組：　　）

使用教科書：　（　大修館書店　国語表現　）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】　国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。

【思考力、判断力、表現力等】　思考力や想像力を伸ばし、言語赫々を磨き、進んで表現する。

【学びに向かう力、人間性等】　国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

科目　国語表現　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。	思考力や想像力を伸ばし、言語赫々を磨き、進んで表現する。	国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・表記の決まりを意識し、正しく書く。漢字や慣用表現を正しく使う。・係り受けについて理解する。文末表現について理解する。・敬語について正しい理解を持ち、その使い分けについて理解する。・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。	・言葉と表記・整った文を書く・相手に応じた言葉遣い・わかりやすい分を書く	○	○	○	【知識・技能】話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解し、適切に使い分けている。係り受けを整えたり、文末表現を統一したりすることについて理解している。 【思考・判断・表現】「書くこと」において事象を的確に描写したり説明したりするために、相手に応じた言葉遣いを的確に使い分けている。【主体的に学習に取り組む態度】正しい表記や語彙を豊かにすること、相手に応じた言葉を使い分けることについて積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	24
	定期考査						○	○		1
2学期	・適切な言葉づかいや態度で面接の受け答えをする。質問に対して、具体的で説得力のある答え方で答える。・小論文の基本的な書き方を理解する。意見を筋道を立てて書く。原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。・レポートの基本的な書き方を理解する。客観的な根拠を集めて説得力のあるレポートをまとめる。	・面接にチャレンジ・小論文とは何か・レポートを書く	○	○	○	【知識・技能】話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し使っている。小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】同意が得られるように言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】調べたことをレポートにまとめることに興味を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	26
	定期考査						○	○		1
3学期	・辞書に親しみをもち、言葉を意識し語彙を広げ、言語感覚を豊かにする。・読者を意識し、ほかのエッセイを参考にしながら、構成、文体、表現などを意識してエッセイを書く。	・みんなで作ろう国語辞典・エッセイを書こう	○	○	○	【知識・技能】自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】「書くこと」において、読み手を楽しませるよう、さまざまなエッセイを参考にしながら適切な題材を決め、文章の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】国語辞典を作ったり、エッセイを書いたりする活動に興味を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	20
	定期考査						○	○		1
										合計 73